

科目名	幼児教育心理学					単位	2.0
担当教員	石牧 良浩						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	3	授業番号	5319

●授業のテーマ

子どもの能力を引き出し、伸ばしていくための方法論を学ぶ。

●到達目標

さまざまな教育心理学・発達心理学の研究者の考え方、および子どもの教育に必要な概念について理解を深める。

●学習内容(授業概要)

本講では「教え、育み、能力を引き出す」といった、教育心理学についての知識・方法論について説明する。そして、心身ともに著しい発達がみられる乳幼児期において、どのようなアプローチが必要か、発達心理学とからめながら説明する。最近の資料、公開されている事例・映像なども用いながら、できるだけ分かりやすく、興味深い内容の講義にしていきたいと考える。

●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション・教育心理学とは(授業の内容と進め方)
2. 発達の基礎知識(発達の時期・発達の文脈・発達の意義)
3. 発達課題(エリクソンの発達課題・乳幼児期の課題を中心に)
4. 人間関係と発達①(親子関係と発達)
5. 人間関係と発達②(愛着関係の重要性)
6. 知能と知的活動①(記憶)
7. 知能と知的活動②(知能とは)
8. 知能と知的活動③(思考と創造性)
9. 学習①(学習とは何か)
10. 学習②(学習と動機づけ)
11. 学習③(学力と能力)
12. 道徳性の心理①(道徳性とは)
13. 道徳性の心理②(愛他心と向社会的行動)
14. 大人と教育(大人の期待と大人の行動・教員と子どもの相互作用)
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

準備学習：毎回の授業のテーマごとに、あらかじめ周辺領域について下調べをする。

事後学習：毎回の授業で習った大切なキーワードを3つ以上書きだしておく。

●成績評価方法・基準

平常点 40%・学期末試験 60%

●テキスト（必携）

「教育心理学」 松原達哉 編

丸善出版

販売先：生協

●参考文献／その他

講義中にプリントを配布する。プリントを綴じるためのファイルを各自用意すること。

参考文献は授業中に指示する。

●履修上の注意

- ・テキストの補助資料として、毎回プリントを配布する。プリントを綴じるファイルを各自用意すること。
- ・授業計画は変更が生じる場合があるので了承されたい。